

学校だより 雄飛

佐倉市立西志津中学校 第11号 令和7年3月3日(月)

『未来を拓く 自己肯定感をもった生徒の育成』

～自立と共生を目指せる 西志津の生徒～

発行責任者 岩崎 徹(文責 野田 創)

生徒数 1年130名 2年152名 3年161名 計443名

『厚德載福』

校長 岩崎 徹



「光陰矢の如し」、「白駒の隙を過ぐるが如し」の諺を、肌で感じる3月を迎えています。心理学用語に「ある時点での時間の心理的長さは、年齢に反比例する」とする、「ジャネーの法則」がありますが、中学生より大人のほうが、年度の終わりを迎える感慨が深いのかもしれません。それと同時に、やっておくべきだったことや、身につけておくべきだったことを強く感じ、思いを巡らせるのも3月なのだと思います。「歲月人を待たず」も強く感じます。

そして、その3月は別れの季節、節目の時です。1年生は、入学以来1年間共に支え合った級友、住み慣れた教室と別れを告げ、先輩と呼ばれる新たな教室で仲間と出会う準備をします。2年生は、1年間支え合った級友と一緒に3階の教室に別れを告げ、2階の教室で西中の顔である最上級生として、活躍する準備をします。3年生は11日(火)に、大きな夢と希望を胸に、新たなステージでのさらなる成長を誓い、母校を巣立ちます。それぞれ立場は違えど、ここまでの歩みは、喜びばかりではなく、幾度もくじけそうになったことがあったのではないのでしょうか。そんな時に、立ち上げられるよう手を差し伸べてくれたり、前を向けるよう背中を押してくれたたり、一歩踏み出すのを一緒に待っていてくれたのは誰だったのでしょうか。嬉しいことや喜びがあった時に、共に幸せを感じてくれたのは誰だったのでしょうか。気持ちがまとまらず、思わず感情的になった時に、場合によっては厳しい言葉で、冷静に自分を保つことの大切さを教えてくれた人は誰でしょう。しかし、そんな大きな出来事は記憶に多くなく、そうではない日々のほうが多いと思います。何気ない日常の中で、自分と向き合い、何か思いを伝えてくれた人は誰でしょう。人は人と触れ合うことでしか成長できません。自分と全く同じ人がいないからこそ、良いこともそうでないことも起こり得ます。そんな全てのできごとが、今の自分をつくってくれていることに気づくべきだと思います。だからこそ、別れを迎える3月の今、出会った全ての人と出来事に感謝の心をもってほしいと願います。「出会いは人生を豊かにし、別れは人生を深くする」という言葉が身に染みます。

春を意識し始めると、昭和55年1月1日に発売された、石野真子さんの「春う!う!う!」を毎年思い浮かべます。その歌は「春という字は三人の日と書きます」で始まります。幼い頃「春という漢字は、確かにそう見える!」と感じたこともさることながら、学級担任だった頃、この歌をもとに毎年、春に出会うべき3人について伝えていたことも理由です。当然ながら、作られた方の意図とは全く違うことは承知していますが、3人とは「過去の自分」「今の自分」「未来の自分」と私

的に捉えています。春という別れと出会いの季節に、あそこ夢や希望をもって理想としていた(中学生の)自分・たくさんの人と出来事に接しながら、何かを感じ、出来上がっている今の自分・本当はなりたい、なることを目指している理想の未来の自分。



人はみな目の前のことで精一杯で、わかってはいながら流されてしまう日々が多いのだと思います。だからこそ春は、あの頃の未来に立っているかをしっかり振り返り、理想に近づくために何をすべきなのかを見つけてほしいと願います。西中生の、答えが見つけにくいその問いへの挑戦を、心から歓迎し支援します。3月の異称は「夢見月」。西志津中学校区にお住いの全員が、未来への明るい夢を見る春を迎えたいものです。

時期尚早ではございますが、令和6年度も西志津中学校への多大なるお力添えに、心より御礼申し上げます。今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卒業生へのメッセージ



予餞会実行委員 1年生代表 S.H さん(1-1)

「3年生の先輩方には体育祭、やまぶき祭などのさまざまな学校行事、部活動、委員会などで、私たちは大変お世話になりました。中学校に入学したてで、慣れないことが多い中、先輩方が支えてくださりました。短い1年間でしたが、先輩方から学んだことを思い出し、新しい1年生にも伝えていきたいです。そして。私たちも先輩方のように、尊敬される先輩になりたいです。これから、それぞれの道を歩み、西志津中学校を離れていくと思います。

西志津中学校で、先輩たちと過ごせる時間も残りわずかです。予餞会では私たちが感謝の気持ちを伝えると共に、西志津中学校で過ごした3年間の思い出し、楽しんでもらえるような場にしたいです。」

予餞会実行委員長 O.Y さん(2-3)

「3年生のみなさん、3年間お疲れ様でした。予餞会は楽しんでもらえましたか。1年生も2年生も短い練習期間ではありましたが、3年生に思いが伝わるように全力で練習に取り組んできました。今年のスローガンは「Don't forget 思い出の1ページに刻め」です。

今回の予餞会が少しでも先輩の思い出に刻まれればいいと思っています。先輩方の高校生活が幸せいっぱいになることを願っています。今まで本当に、お世話になりました。

これからも、そしていつまでも、私たち1・2年生にとって、頼れる先輩でいてください!

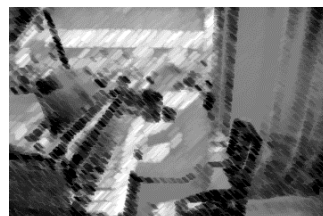
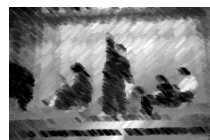
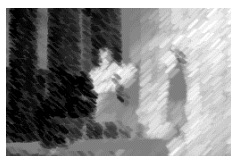
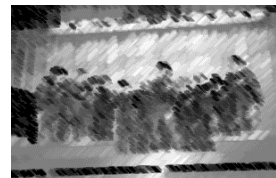
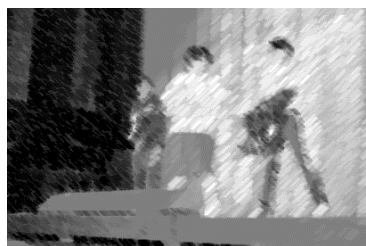
三月の予定	4日	火	公立高校入学許可候補者発表日	13日	木	学年末保護者会13:45~受付
	5日	水	1・2年生実力テスト 3年生子育て理解講座2・3校時	17日	月	給食最終日 学年会議
				18日	火	弁当持参 全校委員会
	6日	木	職員会議	19日	水	弁当持参 大掃除 ワックスがけ
	7日	金	卒業式予行演習	20日	木	春分の日
	10日	月	卒業式準備	21日	金	午前日課 活動のある部活は弁当
	11日	火	卒業式 1・2年生臨時休業	24日	月	修了式 最終下校10:50
	12日	水	全校評議会	27日	木	離任式8:45~

3月のスクールカウンセラーの出勤日は3日(月)、10日(月)、17日(月)です。

3月の学校徴収金の引き落としはありません。1年間、ご協力ありがとうございました。

予餞会ギャラリー

3月11日に行われる卒業式は、3年生と保護者の方、教職員で執り行うため、1・2年生にとっては2月28日に実施された予餞会が、3年生と共に行う最後の行事となりました。年末から少しずつ準備し、各学年実行委員を中心に練習してきたことを発表し、3年生の旅立ちを祝いました。



2月21日(金)、3年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。禁止薬物の被害や処方される市販薬の過量摂取が話題となっている現在、薬の正しい使い方とともに身近に潜む薬物の危険を知ること、自身の健康を守ることが必要になると考えられます。当日は、千葉県警北総少年センターの講師を招いて、薬物の恐ろしさについてお話していただきました。

薬物乱用防止教室

薬物の過剰摂取など、意外と身近な場面でも薬物乱用の恐れがあることを再確認し、医師の指示を聞いて正しく服用しようと改めて思いました。また、違法薬物についてあまり深く考えたことがなく、今回の話を聞いて効果の種類や体への影響などの危険性を理解できました。違法薬物を入手してしまうことがないように気をつけたい。はじめは、自分はあまり関係がないことのように思っていたけれど、入手経路の多くが知人からであるとき、これから先に交友関係を広げる中でいつの間にか関わっていることがあるかもしれないということを意識して生活したいと思いました。(3年 M.Hさん)

今日の薬物乱用防止教室の参加して、薬物が危険なものという認識はできていたけれど、自分の身の回りにもあること知り、より怖いと感じ、気を付けて行こうと一層感じることができました。想像していた薬物が、いつもよく見る薬に変わっていたり、ミッキーなどが使われかわいいものになっていたり、グミに変わったいたり、見抜くことが難しくなっていて驚きました。そのような薬物を使うことで、抜け出せなくなったり、自分で自分を傷つけてしまうことになったり一度使うだけで大変なことになってしまうんだと改めて感じることができました。薬物は身近な人から自分に伝わってしまうことも怖いと感じ、気を付けようと改めて感じました。また、たばこの害も、体に良くないものがたくさんあることに驚きました。自分自身、これからも薬物やたばこに関わらないように気を付けていきたいです。(3年 S.Hさん)

離任式のお知らせ

3月27日(木) 8:45開式

離任式を上記の日程で執り行います。会場は体育館です。
在校生及び今年度の卒業生(現3年生)が参加します。保護者の方、過年度の卒業生は、体育館には入らず昇降口前でお別れの挨拶ができるようにいたします。
ご理解とご協力をお願いいたします。

